

## 研究実施のお知らせ

研究課題名：COVID-19 パンデミック下において基礎看護学実習を臨地で経験できなかった学生に対するシミュレーション演習の効果

研究対象となる方：2021 年度に COVID-19 の影響により 2 年次基礎看護学実習 II を臨地で体験できなかった現 4 年次学生です。

### 研究の意義・目的

COVID-19 パンデミックの影響を受け、看護系大学では臨地実習の日程の短縮や時期、学内への変更など、オンラインによる講義・演習の実施など、学習方法の変更を余儀なくされました。島根大学医学部看護学科でも同様の措置を行いました。そのため 2 年次の基礎看護学実習を対面で経験することができなかったため、看護学総合実習の内容をシミュレーションと VR を取り入れた演習に組み替えました。

シミュレーションと VR を組み合わせた学内実習の教育効果について明らかにされた研究は少なく、本学での演習及び実習の評価を行うことで、今後の学内実習のあり方について検討するための基礎資料とすることができると考えています。

### 研究の方法

#### 分析対象となるデータ

##### (1) クリティカルシンキング尺度

看護学総合実習 I の評価として Forms で収集したクリティカルシンキングの評価

##### (2) フロー体験チェックリスト

看護学総合実習 I の評価として Forms で収集したフロー体験の評価

##### (3) 看護学総合実習 I の教員評価

看護学総合実習 I の評価として看護学実習 Web で収集した教員評価

### 分析方法

上記のデータについて、平均値、割合などの統計学的な解析をし、学習効果を量的に分析します。

### 個人情報の取り扱いについて

収集した Forms および看護学実習 WEB のデータは個人情報管理者が受け取り、他のデ

ータと突合せ、学生番号・氏名など個人を特定できる情報を外し、暗証番号をつけて研究責任者に渡します。学生番号と氏名リストはデータ管理者のみが確認でき、研究責任者が個人情報に触れることはありません。

#### 研究の期間

島根大学医学部看護研究倫理委員会承認後から令和7年3月31日

#### 研究成果の公表

本研究の成果は、看護教育関連学会や島根大学医学部紀要等で公表を予定しています。

この研究は、島根大学医学部看護研究委員会の承認を受けております（通知番号第413号）。また、すでに対象となるデータは収集されていますので、研究について口頭による説明・同意など、インフォームドコンセントの手続きは省略いたします。

ご自身の情報を研究に利用してほしくない場合はデータを削除いたしますので下記のフォームをご利用の上、学生番号氏名を入力ください。入力されたデータは個人情報管理者のみが確認し、研究協力の意思を研究者が確認することはありません。なお、令和6年4月30日までに意思確認フォームに入力いただきますようお願いいたします。

それ以降にご連絡いただいたとしても、分析データから個人を特定できる情報を削除しておりますので研究協力の撤回の意思を反映することはできませんことをご了承ください。

#### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は研究責任者にご連絡ください。

#### データ管理者：

島根大学医学部基礎看護学講座 教授 津本優子

#### 研究責任者：

島根大学医学部基礎看護学講座 教授 古賀美紀

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2316 MAIL mk8592@med.shimane-u.ac.jp

